

令和7年度 内部評価委員会 評価結果（令和7年5月27日開催）

【評価方法】 5段階評価（総合評価）

1 令和6年度終了（事後評価）

（5:計画以上の成果、4:計画どおりの成果、3:計画に近い成果、2:わずかな成果、1:成果なし）

No	調 査 研 究 課 題 名	実施年度	担当	評価点
1	シーケンス等を活用した自然毒関連植物分析法の検討	R6	化学、微生物	3.9
2	大分県内におけるPM2.5発生源寄与割合の推定に関する研究	R6	大気・特定化学物質	3.7

2 令和7年度継続（中間評価）

（5:独創性・貢献度が高く是非継続、4:継続した方がよい、3:部分的に検討要、2:大幅な見直し要、1:中止すべきである）

No	調 査 研 究 課 題 名	実施年度	担当	評価点
1	海域における気候変動と貧酸素水塊(DO)/有機物(COD)/栄養塩に係る物質循環との関係に関する研究	R5～R7	水質	3.8

3 令和7年度新規（事前評価）

（5:独創性・貢献度が高く是非採択、4:採択した方がよい、3:部分的に検討要、2:大幅な見直し要、1:採択すべきでない）

No	調 査 研 究 課 題 名	実施年度	担当	評価点
1	ミネラルウォーターのPFAS分析法の検討	R7	化学	4.1
2	貝毒を主としたマリントキシナー齊分析法の検討	R7～R8	化学	3.7
3	大分県における腸管出血性大腸菌の遺伝子型の推移	R7	微生物	3.5
4	Penner PCR法を利用した <i>Campylobacter jejuni</i> の型別	R7	微生物	3.5
5	ポリエチレングリコール(PEG)沈殿法を用いたノロウイルス検査法の検討	R7	微生物	3.7
6	気候変動が酸性雨にもたらす影響について	R6～R8	大気・特定化学物質	3.1
7	環境DNA分析を活用したアリアケギバチの生息地調査	R7	水質、微生物	4.0